

タイトル	大槌支援交流
名称（学校・地域）	軽井沢町立軽井沢中学校（北佐久郡軽井沢町）
日時・場所等	
ホームページアドレス	http://www.town.karuizawa.lg.jp

【教育活動の内容】

軽井沢町がスタートさせた東日本大震災の被災地大槌町支援ですが、小中学生にもできることはないか話し合い、4年前から資源回収を行ってきました。はじめは「震災を風化させず、復興を手伝いたい」と考えて支援活動を行ってきましたが、相互訪問等を通して大槌町の人々と触れ合う中で、町民同士、中学生同士の交流へと変化していきました。その一端を紹介します。



↓平成28年4月。大槌学園9年生(中学3年)の皆さんが、修学旅行の中で、軽井沢中学校へ来てくださいました。短い時間ではありましたが、校歌や合唱、エール交換を行いました。

↑中学校では月2回、小中学校合同で2ヶ月に1回行ってきた資源回収の様子です。昨年度(平成28年8月)には、集まった約60万円で大槌学園の校章を軽井沢彫りでつくり寄贈しました。大槌町を訪問し寄贈した3年生徒は、「軽井沢にとって大槌はかけがえのない存在だ。今や支援ではなく、これからも交流を願う証として校章を贈る」と思いを伝えました。現在は、大槌学園の昇降口に飾られています。



←平成29年9月。学校祭の中で、軽井沢中(全校)と大槌学園(中3)をSkypeでつなぎ、交流会を行いました。お互いの町をクイズ形式で紹介したり、校歌を発表し合ったりしました。通信状態が心配されましたが、Skype交流も2回目を迎え、交流内容や映像の写し方等、工夫されてきました。直接訪問するとバスで約9時間かかる2町ですが、インターネットのお陰で、全校がお互いの顔を見ながら交流できました。



←平成29年8月。初の試みとして、大槌町の大槌学園、吉里吉里学園の男子バレー部、卓球部を軽井沢町へ招待し、部活交流を行いました。練習や試合を通して、親睦を深めることができました。

平成29年大槌派遣生まとめより

◆学んだことは・・・

- ・自分の身は自分で守る。
- ・自分で考えて行動する。
- ・相手の気持ちを考える。

◆願いは・・・

これからも相手のことを考えた大槌との活発な交流・支援をしていきたい。